様式第５号（第５条関係）（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在（地　番）	掛川市千浜字前野　7545-1、7545-2、7545-3、7545-4、7545-24、7545-25	地目	畑 山林	面積	960 ㎡
工事中又は工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中・工事後	伐採工	④、⑦、⑧	伐採により水源涵養機能が低下するため、地下水の減少、豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。		伐採量を極力減らし、運営後は、365日24時間遠隔監視を行い、周囲に影響があった場合随時対応する。		
工事中	土工	⑦	機器設置の基礎工事を行う際に掘削を行うため、雨天時に土砂等が流出する可能性がある。		掘削を行い現場内で発生した土砂は、随時事業地内で均し重機等で転圧を行う。事業地内西側・東側に新設　U字溝を設置し、南側既設　U字溝にあふれた雨水を排水する。砕石を事業地内に敷き、土砂の流出を抑制する。		
工事後	施工後観察	⑨・⑩	周辺は北側・西側・南側に道路があり、東側は農地となっている。		事前に周辺住民、また開発地に隣接している土地所有者に対し戸別訪問し、図面等をもって事業内容の説明を行った。運営後は、365日24時間遠隔監視を行い、周囲に影響があった場合随時対応する。		

（注）１　環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。
①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）
２　影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。